



加速する情報化社会 上手に街ネタを 集めてみませんか

急速に進む情報化社会

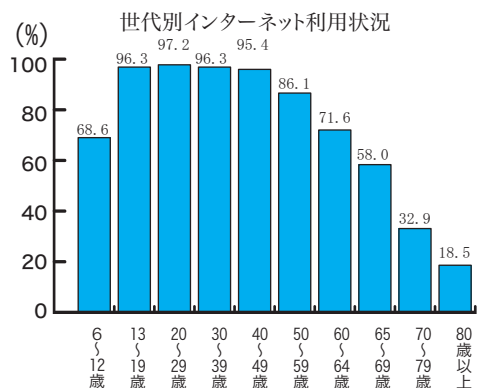
皆さんは日頃どのような情報を取得していますか。テレビ、新聞、雑誌、ラジオ、インターネットなどたくさんメディアが存在します。その中でもインターネットは、平成21年に実施された総務省の調査によると日本全体の利用者が9408万人。日本人の78.0%が利用しています。また、世代別にみても、若年層だけでなく65歳以上の高齢者の利用率も高いことがわかります。

このような中、市では幅広い年齢層に向けて情報発信ができるインターネットを利用した広報が有効と考え、ソーシャルメディア「ツイッター」と「フェイスブック」の運用を今年の6月から開始しました。市内で開催されるイベント情報や、面白い話題を多くの人に知っていただくとともに、御前崎市の魅力ある情報を広く発信することで、まちの活性化につなげたいと考えています。これらの情報は、パソコンによるインターネット利用者だけでなく、携帯電話やスマートフォンなどからでも簡単に入手で

きるため、情報を知り得た人が、友人、知人に情報を広げ共有化する効果があります。

また、このようなソーシャルメディアを利用することにより、地震や台風などの被災時には、同報無線やケーブルテレビ、市のホームページとは別に情報を発信することができます。

昨年発生した東日本大震災では、ソーシャルメディアが情報伝達手段として、実際に大変役立ちました。宮城県気仙沼市の危機管理課では、ツイッターを利用して地震発生から9分後の14時55分に「宮城県沿岸に大津波警報、高台に避難」と発信しました。これは、被災した自治体の中で最も早い情報発信として注目を集めました。



出典 総務省「平成21年通信利用動向調査」